

～～研究者回答集～～

今回の「赤い糸会・東京」で不満に感じた点、改善してほしい点があれば、お聞かせ下さい。

- バイオ関連、医薬関連、食品関連の企業にもきてほしい
- 面談の時間が短い
- 生命機能（生物）系の企業が少なかった
- 企業数が少なすぎ、又生物系がさらに少なかったです
- 英語も使えるほうがいいと思います。企業発表内容の字サイズがちょっと太くしたほうがいいです
- バイオ関連の企業をもっと呼んでほしい。企業ブースの回転を良くしてほしい
- スケジュールがきつきつでした
- 自分の会社の専門外のポスターは見にくい企業が多い
- 企業の人にあらかじめ自己紹介リストを渡しておいて欲しい
- ポスターを見てもらう時間が少ない
- 企業ブースが混んでいて、空かない点を改善してほしいです

・全体を通して、「赤い糸会・東京」についての感想（自由にご記入下さい）

- 企業の方々が何を求めているのかが、見えて良かった。ポスターの専門性が強すぎて、企業の方に伝わらなかった事を今後に活かして、プレゼン・面接の向上につなげた
- 研究所見学会を今後もひらいてほしい
- 参加した研究者も企業の方も、いい人ばかりでよい提案をもらえた
- この様な会を開いて頂き、大変感謝しておりました。研究所訪問はありがたい企画です。が、参加された企業数が少ないのが残念でした
- 大変有意義だった。日本たばこの方や新日鐵の方と話せ、雑談もあったが楽しかった。おつかれさまでした。ありがとうございました
- 1枚目のアンケートに関して一企業の数が少ないと感じた理由は、意見交換を行う際に常に席がうまっっていて、聞きたかった企業とコンタクトがとれなかった点にある。発表時間が少なかったなので、企業数を増やすと1日でおさまらなくなるのでバランスが難しいと思われる。もし可能なら1企業あたりに意見交換対応する人を2人から増やしてほしい
- 時間設定に余裕がなくあわただしかった。もう少しゆったりとしたタイムスケジュールであれば尚良かった

- とてもいい chance ですが、留学生として、企業と交流することがむずかしかった
- このような企業と学生連携の形式がいいと思います。企業の方は熱心です。交流も意味が深いです
- PD の参加者が少ないことに驚きました
- 今後はもっと研究者の参加者が増えると思う。このような機械は今後も利用していきたい。私は物理学が専攻だが、今回の「赤い糸会・東京」に参加して、化学や高分子の分野も面白いなと感じることが出来た
- 日程の都合等をも慮ると仕方がないことかもしれませんが、研究所見学可能な研究所の選択肢が少なかった
- 初めてだったので、何をどうしたらよいか全くわからなかった。しかし、企業の考えなどわかったので、いろいろ勉強になった。ポスターの作りかたがよくわからなかった。改めてドクターの就職はきびしいと感じた
- 少し慌しい日程のように感じた。研究所見学の選択肢がもう少し多い方がよい
- 志望している企業の研究所が関東にあるため東京の開催で大変助かりました。住友先生に企業見学の斡旋までして頂き、心より御礼申し上げます。今後も東京での開催を希望致します
- マッチングという意味では、バイオはきびしいと思った。どこの企業もリーダーシップ、研究遂行能力、コミュニケーション力を求めている。まだどれも自信がないので、きたえないといけないと思った
- 企業の方の声を直接聞いたのは良かった。今回参加した企業が”化学系”に偏っている印象を受けた
- 大変良い刺激になりました。企業側のニーズがわかり、今後へ生かせそうです
- 学会等では自分の研究分野に近い人はポスターを見に来るので、全く見学者が来ないことはないが、今回は研究分野が違う企業は見に来ないので、ひまな時間が多かった
- 企業側のニーズ、採用実績、そして具体的な博士の働き方について、ある程度聞けたので良かった
- 様々な分野の企業がきていて興味深いが、関連企業同士を集めてパラレルにセッションを行った方が、より多くの企業を見ることができると思った
- 北大専用という感じで、会社の人たちもそう思っていた気がする
- 日頃、会社の人と話すことがないので、良い機会になった。自分の分野以外の人とも話せるので良い
- 様々な情報を得る場としてとても役立ちました
- 企業数が少なめで、より深く交流ができた反面、業種が限られてしまっているような気もした

・今後、企業へ期待すること・要望

- 定期採用だけでなく（博士課程の学生などは D3 で就活する）不定期採用も多くしてほしい。DC の学生は職務経験はない。マスターの学生と似たような採用もあつたらうれしく思います
- パンフレットなどは、あらかじめ見れるようにしてほしい。面談先を選ぶ参考にしたい
- 学生に対して期待することをもっと明確に出してほしい
- 積極的にアタックします。よろしくお願いします
- 博士の3年間の使い道について考え、収支で内定し、指定の博士に進学後 取る等。またどの大学と共同研究をしているのかをオープンにわかりやすくすることで、その会社に行くために研究室を選べるかもしれない
- 博士で身に付けたスキル（論文や研究者ネットワーク、特殊装置の操作法など）を求めている企業と、純粋に自分の企業とマッチングしていないとダメな企業とかがあつたのが残念。自らのテーマにしか興味ないわけではないのに選択から外れているのがこちらとしては厳しい
- ホームページでは手に入らない情報をメインに話して欲しい
- やはり、DC まで進んだ学生は、まだ大学に残りたいと思っている人が多い。大学に残ろうとする学生をもっと引き込むような活動を活発にしてほしいと思う
- 博士課程や博士研究員に対する採用情報のよりオープンな開示。接触、コンタクトのし易さ（まだやはり敷居の高さを感じる）
- 基礎研究をもっと見直して欲しい。博士卒をもっと広く（第2新卒等）採用して欲しい
- 博士といっても、DC 新卒と既卒・PD 経験者では選考プロセス、採用基準も違うと思うので、博士採用の内訳として、DC/既卒・PD とで分けて欲しい
- 通年採用を多くの企業に取り入れていただきたい
- 博士への偏見をなくして欲しい。新卒採用にこだわらないで欲しい
- 幅広い分野の企業が参加し、HP エントリー以外の具体的なコネクションが多く作れたら良いと思う

今後、S-cubic へ期待すること

- 博士課程の学生へ、就活指導、あつせん。専門別の赤い糸会→マッチングしない企業がたくさんあつたため
- インターンを企画してはどうでしょうか？D1 の参加者が増えたり、企業への就職のモチベーションが上がるのでは？

- PD, DC, DC 進学希望の MC に対する、キャリア戦略の授業を行ってほしいと思います
- 赤い糸会は大変良いイベントだと思うので、回数をもっと増やして欲しいです
- 各企業の研究所見学は今後も続けて欲しい
- 研究所の見学会はこのままやって欲しい
- 今後とも何卒宜しくお願い申し上げます
- 研究所見学の機会を増やしてほしい。C-net がどれくらい機能しているか、知りたい
- 様々な企業の方がきて、技術系の方がきて、自分の研究とのズレがあり、最先端分らないので、そのような企業の方との橋渡しをして欲しい
- 今回のように東京・大阪に出向いて、企業の方とのコミュニケーションをはかる
- 上にも書いた事と重複するかもしれませんが、既卒・PD 対象の情報がもう少しあれば
(曖昧ですいません)
- もっとたくさんこのような会をして欲しい
- 札幌でやってほしい
- S-cubic の HP の積極的な更新、赤い糸会への多数企業の誘致

～～企業回答集～～

今回の「赤い糸会・東京」で不満に感じた点、改善してほしい点があれば、お聞かせ下さい。

- 意見交換の時間を長くして頂けますとありがたいです
- 学生の専攻分野がバラバラであり、説明に苦労した
- 会社数と研究者数（学生数）のバランスを少し考えられてはいかがでしょうか。どちらが選ぶ立場にあるのかがつかみにくいように感じました。学生数>>会社数 or 学生数<<会社数
- 理系中心であったが、工学系等もまき込んで頂けると、マッチングの幅・可能性が広がると思います
- 研究者の方とコミュニケーションがとれ、大変興味深い会で満足しています。プロジェクトを2台用意して頂ければ、トラブル復旧がより早かったのではと思います。
- 機械系、電機・電子系からのPD, DCの参加も期待します
- もう少し企業の発表に時間が欲しい。前回の様に学生のレジュメ（A4×1枚でも可）を配ってほしい。札幌開催のときにも参加させて頂きたい
- もっとシステムに近い人がほしい。（無理かとも思いますが）

・全体を通して、「赤い糸会・東京」についての感想（自由にご記入下さい）

- 今回は、研究領域が合う人が少なかったですが、今後、当社の研究分野の広がりによって、マッチングする可能性は増えると思います
- 人事担当の参加は必須と思う
- 良い取り組みだと思います。3年間ということですが、もったいないように思います。北大と他大学との連携もあれば、良いように思いました
- 意識的魅力的な研究者の方と接することができ、非常に実り多い会だと思います
- 研究所見学や工場見学は、関東地区で開催する特長だと思います。積極的に活用して下さい。PDはバラツキが大きく、信頼できる先生からの紹介や本人との十分な面談が重要だと思います。その為のご協力をお願いします
- 企業見学会にエントリーしたかった（羽田までの往復はこちらで手配します）。ツアーでの企業見学でなく（ドクターであれば）個別受付が良いのでは？
- 研究室、研究活動で企業の人とコンタクトの無い人が結構多いことが分かりました。このような活動は意義深いと考えます

・ 今後、研究者へ期待すること・要望

- 自らのアピールの個人差があり、今後のエントリー状況により、判断したい
- 柔軟な考え方の研究者が多かった
- 研究のみにとらわれない、もっと広い意味での論理性
- 自分が何ができ、どのような形で貢献できるかをきちんと示してほしい
- 広い分野の研究に興味を持たれ、社長にどのように役に立てるかという視点を養って下さい
- (1)専門性の深さ、人脈・コミュニケーション力の高さ、フットワークの軽さ (2) 情熱、ハングリー精神、リーダーシップ (3) 戦略の共有化・立案
- 幅広い(専門外への) 関心を持って頂くこと
- 学会などで積極的に企業の人にコンタクトして欲しい

・ 今後、S-cubic へ期待すること

- このような会をますます盛んに開催して頂けることを期待しています。ありがとうございました
- 日頃のコミュニケーションを密に、臨機応変な連携の継続をお願いします
- このような活動が定着することを願います